



二学期のスタートに思う

校長 小嶋 高德

夏休みが終わり、樹海っ子の元気な声が学校に戻り、いいなあと感じています。最も長い学期のスタートです。しかし夏休み明けの前例のない猛暑には驚きでしたが、工夫して対策し学びの保障に努めました。さて、2学期は学校祭、樹海駅伝、音楽発表会、農園活動などの大きな行事があります。今年は開校2年目ですから、今年の初回の活動を受けて、伝統を作る年。新たな伝統を生み出すべく学習と行事の両立に勤しむ樹海っ子へ、応援をお願いします。

先日、富良野で行われた世界的ファッションデザイナーのコシノジュンコ氏のトークライブを拝見しました。常に最先端を競う世界の中で、誰もしていないことへの挑戦に今も大きな価値を見いだしているそうです。それを聞き、樹海っ子も我々職員も開校2年目の最先端ともいべき義務教育学校で過ごしているのですから、恐れず挑戦し、さらに全力で挑戦する樹海っ子をサポートしていきたいと励まされたような気持ちになりました。



8/25 増設校舎教室で（熱中症対策）

【宇宙論(宇宙のはじまりと終わりをかんがえること)の話～後期課程のお子さんとの話題に】

話は変わりますが、老節布の夏の星空は美しいですね。眺めていて宇宙を想像していた子ども時代を思い出しました。その頃私が本で知ったのは、「宇宙は猛スピードで膨張し続けている」ということです。天文学者のハッブルの観測で発見され、膨張は爆発によるとされています。宇宙は極小サイズの灼熱状態から爆発したというのです。それをビッグバンと言います。膨張はある時収縮に転じ、膨張と収縮を永遠に繰り返すという「振動宇宙論」が有力になりました。

その後、観測技術の進歩で、宇宙には収縮に転じるほど質量が存在しないことがわかり、宇宙は永遠に膨張し続けるという「平衡宇宙論」が有力になりました。宇宙に始まりはあるが終わりはないこととなります。長い時間の末、宇宙はブラックホールだらけになり、ブラックホールも全て蒸発・爆発していき、宇宙の温度は極限まで冷え続けます。原子は引き裂かれ、陽子すら崩壊し素粒子のみの世界になっても、膨張を続けどんどん希薄になる宇宙は、質量のないわずかの低エネルギー素粒子が飛び回る虚無の宇宙となります。永遠に希薄になり続けるというシナリオで、これは今も有力な説です。

しかし最近、熱力学の第2法則、エントロピー増大の法則に従えば、宇宙は不可逆的に整然とした状態から雑然とした状態になるはずだが、「平衡宇宙論」のいう「始まりの状態」には整然さが足りなく、逆に長い時間を経た素粒子のみの宇宙は、雑然さが足りない世界になり、矛盾が生じるというのです。そこで新たに登場してきたのが「共形サイクリック宇宙論」です。解説書「宇宙の始まりと終わりはなぜ同じなのか」は、発案者のノーベル賞受賞者、ロジャー・ペンローズ博士の著書ですが、現代物理学・高等数学の専門知識がないと非常に難しく私も未読なので、以下の情報はネット上から読み取ったもので、不正確かもしれないことを了承ください。

では、述べてみましょう。宇宙はビッグバンの後、長い長い時間を経て、質量のない光子や重力子といった素粒子だけ世界になるといいます。ここまでは「平衡宇宙論」と一緒です。しかし博士によれば、その瞬間は、質量のない重力子や光子にとっては時間も空間もなく、素粒子の飛ぶ方向と角度（共形）のみが意味を持つ世界となるといいます。この状態が「宇宙の終わり」であり、かつ“無”に等しいというのです。実は量子力学という学問では、無の状態は不安定で、必ず有の状態になってしまうと予想します。時間も空間もなくなった宇宙は、無のままではいられず、即「宇宙の始まり」が起こります。急激に極小サイズの「宇宙の種」に生まれ変わって“ビッグバン”が起こり、再び新たな宇宙が誕生するというのです。「始まりが終わりと同じ」ゆえんです。ただし、重力子などのボーズ粒子と言われる素粒子は、共形不変量子論の法則という物理学の法則からすると、次の宇宙でも前の宇宙の超重量級重力の痕跡は残るとされ、宇宙背景放射の観測から、博士はホーキングポイントといわれる痕跡を見つけたといっています。痕跡の状況から現在の宇宙は20回目だという推論も報じられています。否定や反論する科学者も多く、これはまだ有力な宇宙論とは言えないようです。ですが、「始まりと終わりは同じ」という、東洋哲学的な考えに現代物理学が至ったことに、私は驚きを感じました。

現代に生きる私たちはインターネットを通じて最新情報が、かつてとは比べものにならないほど容易に、すぐに手に入ります。そういう時代に生きているのだから、青少年期は宇宙論に限らず、樹海っ子には興味をもって色々な最新の学説に触れてもらえたらと感じる今日この頃です。

令和5年度 2学期スタート

8月17日(木)より、2学期がスタートしました。始業式では、夏休みの思い出と2学期頑張ることを代表した4名の子供たちが発表しました。夏休みの思い出は、旅行先の海の話、プールで楽しく泳いだこと、湖水祭り、祖父母宅での宿泊など、貴重な経験を



をたくさん発表していました。また、2学期頑張ることで、九九を覚える、字をきれいに書く、部活動を頑張る、そして学校祭や演劇などの行事について頑張ることを約束していました。2学期の子供たちの更なる成長が楽しみです。

9月行事予定

| | | |
|----|---|-----------------------|
| 1 | 金 | 朝会 |
| 2 | 土 | |
| 3 | 日 | |
| 4 | 月 | 教育実習～8日 |
| 5 | 火 | |
| 6 | 水 | 学校祭総練習 |
| 7 | 木 | |
| 8 | 金 | |
| 9 | 土 | 第2回学校祭 |
| 10 | 日 | 老節布神社祭子ども相撲 |
| 11 | 月 | 振替休業日 |
| 12 | 火 | |
| 13 | 水 | 学カテスト(9年) |
| 14 | 木 | |
| 15 | 金 | |
| 16 | 土 | |
| 17 | 日 | |
| 18 | 月 | 敬老の日 |
| 19 | 火 | 児童生徒教育相談②～21日 クラブ③ |
| 20 | 水 | 職員会議⑧ |
| 21 | 木 | 常任委員会⑥ 遠足(1～4年) |
| 22 | 金 | 中間テスト(7～9年) |
| 23 | 土 | 秋分の日 |
| 24 | 日 | |
| 25 | 月 | 保護者面談②～28日 |
| 26 | 火 | 森林P(7・8年) |
| 27 | 水 | |
| 28 | 木 | 森林P(7・8年)予備日 |
| 29 | 金 | 校内研修⑤ |
| 30 | 土 | |

夏休みあけの残暑

夏休み明け8月4週目の猛烈な残暑では、厳しい暑さの中、児童生徒は大きく体調を崩すことなく学習に励んでいました。熱中症対策としては、スポーツドリンクなどの飲み物、クールタオル・保冷剤などの持参を呼びかけ、授業中でも水分補給や小休憩を行いました。また、可能な限り増設校舎(ランチルーム)のエアコンがある部屋で、授業を行いました。そして、いよいよ暑さが厳しい時には、パーテーションで学年を仕切ることによって、6学級すべてが増設校舎で授業を実施しました。まだまだ、厳しい残暑が続くかもしれませんが、樹海学校では増設校舎を活用しながら、児童生徒の体調を第一に考え「学びを止めない」対策に努めて参ります。



浦幌町教育関係者 学校視察

8月21日(月)、十勝の浦幌町教育関係の皆様が、本校に来校されました。義務教育学校の視察で来校され、一生懸命に学習に励む子供たちの姿を見学されました。浦幌町からは、教育長をはじめ教育委員会、CS、PTA、保護者の皆様20名が参加され、また、富良野市からは、近内教育長をはじめ教育委員会、島村教頭も参加され、総勢26名の方々が授業や学校施設等を見学されました。その後、樹海学校開校に至る地域の人々の願いや、地域とともに実践している特色ある教育活動についての説明を聞いていただき、深く感銘を受けられ、視察を終えられました。



「鉄材回収収益」～578,050円～ 「空ビン・古紙回収収益」～35,769円～

ご協力ありがとうございました。子供たちの学習や部活動などに有効に使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

なお、空ビン・古紙回収につきましては、今年度をもって終了ですが、鉄材回収につきましては、次年度もご協力、よろしくお願いいたします。

雑巾寄贈 ～北進女性部の皆様から～

北進女性部の皆様より、雑巾を寄贈していただきました。校舎内の清掃に使わせていただきます。誠にありがとうございました。

第2回 樹海学校 学校祭 ～9月9日(土) 開演8:40 終演12:00 予定

先月、お知らせしました学校祭プログラムが完成しましたので、配付いたします。お時間がございましたら、ご来場ください。33人の児童生徒が元気な姿で演じます。是非ともご覧ください。